

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

沖縄県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
竹富町立上原小学校（外2校）	竹富町教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
竹富町立上原小学校	準備中
竹富町立古見小学校	準備中
竹富町立船浦中学校	https://www.taketomicho-boe.jp/17/海洋教育結ぬ海科/

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
竹富町立上原小学校	準備中	準備中
竹富町立古見小学校	準備中	準備中
竹富町立船浦中学校	https://onl.la/bbFiCtq	https://onl.la/aXyqQdA

3. 特別の教育課程の概要

竹富町は広大な海洋に16の島々（有人島9、無人島7）で構成される日本最南端の島嶼型自治体である。今回、「隔ての海を結びの海に」のイメージのもと、「結ぬ海（ゆいぬうみ）科」を新設し、各学校で実施される海に係る学習（事前学習・体験学習・振り返りの学習等）を教育課程に位置づけ、系統的・体系的な実り多い学習活動へ転換していきたい。そのため、小学校においては低学年は主に生活科から、高学年は主に総合的な学習の時間から、中学校においては総合的な学習の時間から新教科の時数に充て海洋教育を推進する。

4. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・ 計画通り実施できている
 - ・ 一部、計画通り実施できていない
 - ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

<特記事項>

学校評議員会・学力向上推進実践報告会等において、保護者や地域住民へ情報発信を行っている。

5. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本町の各学校においては、島を取り巻く海や豊かな自然環境を活用した多用な体験学習が実施されているが、単発的な体験に留まっていることや他の島・他の地域への関心が希薄であること等の課題がある。そこで、既存のものに加え、新たな教育プログラム等を作成・整理することによって、本町の島々や世界全体が海で繋がっていることへの理解に繋がり、身近な地域のみならず国際的な課題への関心や理解力を高め、新学習指導要領が目指す持続可能な社会づくりに貢献できる人材の育成に繋がると考え、特別の教育課程を編成して実施する。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

特別の教育課程について、教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に規定する小学校等の教育の目標に関する規定等に照らして適切であることを、確認済である。

6. 課題の改善のための取組の方向性

特別の教育課程を編成することにより、新たな教育プログラム等を作成・整理し本町の島々や世界全体が海で繋がっていることへの理解に繋げる。また、身近な地域のみならず国際的な課題への関心や理解力を高め、新学習指導要領が目指す持続可能な社会づくりに貢献できる人材の育成に繋げるための特別の教育課程を編成して実施する。